

■業務改善推進校 情報交流会 ■ ～第2回 進捗状況確認～

令和4年11月2日に、業務改善推進校10校の今年度2回目の対面交流会を実施しました。年度当初に作成したアクションプランシートに進捗状況を反映させたものを持ち寄り、これまでの取組や今後の計画を交流しました。グループで話し合うことで、それぞれの学校のこれまでの取組を価値づけし、ゴールを再確認し、今後のスケジュールを明確にすることがねらいです。

アクションプランシートを基に各校プレゼン・交流・深化(トークテーマ①) ↓

現在の課題	その原因・背景	取組例	感想の記												
<p>①業務の負荷 (能力によって)</p> <p>・業務量だけでなく、時間外勤務時間の増加</p>	<p>計画的に業務を分担できていない(教員に余裕がない)</p> <p>情報共有化する時間が少ない</p>	<p>To-Do① ネットワーク上の連携、連携(遠隔制)に余裕がない</p> <p>To-Do② 研修報告書のデータ化</p> <p>To-Do③ 研修報告書のデータ化</p>	<p>業務量の平準化、助け合い、金銭的負担に業務終了</p>												
<p>②業務の複雑</p> <p>・複雑化できる部分と時間をかけるべき部分(アシスタントへの依頼内容など)</p> <p>・データ化することにより気持ちを加える機会の減少</p>	<p>なんでもデータ化は困る、職員会議で連携することではないのかなどの意見あり</p> <p>単純アシスタントへの依頼内容の整理、依頼先が先になるべきなど</p> <p>・データ化することにより気持ちを加える機会の減少</p> <p>文化の醸成(主任など)</p>	<p>To-Do④ 単々の時間外勤務の状況把握</p> <p>To-Do⑤ データ化しない業務のまとめ把握</p> <p>To-Do⑥ それぞれの先生の思いの把握</p> <p>To-Do⑦ ネットワーク上の連携、連携(遠隔制)に余裕がない</p> <p>To-Do⑧ それぞれの先生の思いの把握</p> <p>To-Do⑨ データ化しない業務のまとめ把握</p> <p>To-Do⑩ 研修報告書のデータ化</p>	<p>業務に対して必要、不必要のみの議論だけでなく、仕事へのこだわりを持った教員の育成(スキルアップが目的)</p> <p>To-Do⑪ いい取組をデータ化</p>												
<p>スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務改善推進校10校の今年度2回目の対面交流会</td> <td>業務改善推進校10校の今年度2回目の対面交流会</td> <td>業務改善推進校10校の今年度2回目の対面交流会</td> <td>業務改善推進校10校の今年度2回目の対面交流会</td> <td>業務改善推進校10校の今年度2回目の対面交流会</td> <td>業務改善推進校10校の今年度2回目の対面交流会</td> </tr> </tbody> </table>				10月	11月	12月	1月	2月	3月	業務改善推進校10校の今年度2回目の対面交流会	業務改善推進校10校の今年度2回目の対面交流会	業務改善推進校10校の今年度2回目の対面交流会	業務改善推進校10校の今年度2回目の対面交流会	業務改善推進校10校の今年度2回目の対面交流会	業務改善推進校10校の今年度2回目の対面交流会
10月	11月	12月	1月	2月	3月										
業務改善推進校10校の今年度2回目の対面交流会	業務改善推進校10校の今年度2回目の対面交流会	業務改善推進校10校の今年度2回目の対面交流会	業務改善推進校10校の今年度2回目の対面交流会	業務改善推進校10校の今年度2回目の対面交流会	業務改善推進校10校の今年度2回目の対面交流会										

具体的な取組共有をし、自校の取組に活かす(トークテーマ②) → → →

前回のオンライン交流の振り返りシートの中で、「実際の具体的な取り組みを列挙しあって交流したい。」という声があったので実現したのがこのテーマ。

効率的・効果的な引継ぎ方法、無意識を意識化した時の気づき、事務職員等の専門性や視点を生かした業務改善、目の前にある小さな働き方改革案など、たくさんのアイデアや実践ができました。参加者それぞれが感じていることは、大きな共感も、考え方の違いもありますが、正解をそろえる作業ではありません。話し合う中でそれぞれが自校の現状を踏まえ、最適解が何なのかを考え、持ち帰ることができたのではないのでしょうか。「ステップゼロは話し合うこと」です。

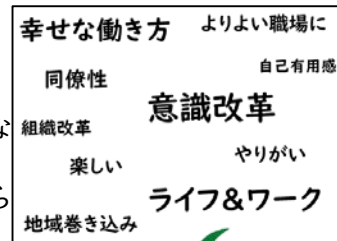


↑グループに分かれて、アクションプランシートを基に各校1分程度でプレゼン開始。「当初の計画通り進んでいます!」「予定にはなかったけど、職員の声でこんな取組をやってみた!」→どちらも素敵です。他校からの「すごい!」の声にモチベーションUP!他校の取組を知ることはとても刺激的!対面交流の醍醐味ですね。

校内の労働安全衛生について(トークテーマ③) →

業務改善推進校が「働き方改革」でイメージするワード(左下)。これって労働安全衛生の考え方と実は同じ。「働き方改革=働きやすい職場環境」

大規模校では設置が義務づけられている「安全衛生委員会」。どの学校においても、そのようなチームを校務分掌にどう位置づけて進めるか。働き方改革の今後の方向性について、様々な視点で考えました。手探りだからこそ共に考える仲間が存在が大切です。



学校間交流、職階別交流など、テーマごとにグループを替え、和気あいあい。モチベーションが高まりました。